

2017.10-12

資産運用状況
Quarterly Report

東京金属事業企業年金基金

用語の解説

- 修正総合利回り

資産の運用成果を評価する評価基準の一つで、簿価ベースの平均残高利回りである総合利回りの分母に前期末の評価損益および未収収益を加えることによってより時価に近い金額に修正した収益率。

計算式：修正総合利回り(%)=(実現収益+未収収益増減+評価損益増減)/(元本平均残高+前期末未収収益+前期末評価損益)×100

- ベンチマーク

運用成果を評価する際に相対比較の対象となる基準指標のことをいい、市場の動きを代表する指標を用います。

国内債券・・・NOMURA-BPI(NOMURA Bond Performance Index)

野村証券金融工学研究センターが算出・公表する日本の公募債券流通市場全体の投資収益指数で、1983年(昭和58年)12月末を100として指数化したもの。

国内株式・・・TOPIX(東証株価指数：Tokyo Stock Price Index)配当込み

東京証券取引所が東証一部に上場する国内株の全銘柄の時価総額を基に算出する株価指数で、1968年(昭和43年)1月4日を100として算出したもの。

外国債券・・・Citi世界国債インデックス(※)

Citigroup Index LLCが算出・公表する世界主要国の国債の投資収益指数で、1984年(昭和59年)12月末を100として算出したもの。

※ロンドン証券取引所グループ傘下のFTSE(フィナンシャルタイムズ(Financial Times))とロンドン証券取引所(London Stock Exchange)が共同出資した企業)によるシティグループ債券インデックス事業の事業買収に伴い、ベンチマーク名は「Citi世界国債インデックス」から「FTSE世界国債インデックス」に変更となります。本レポートでは次回から変更いたします。

外国株式・・・MSCI-KOKUSAI

モルガン・スタンレー・キャピタル・インターナショナル社(MSCI Inc)が算出・公表する国際的な株価指数で、日本を除く先進国22ヵ国の上場企業の株価指数で構成。

平成29年度第3四半期運用状況

平成29年度第3四半期は、10月は衆院選で与党の圧勝した日本やトランプ政権による税制改革が期待された米国、ECBによる慎重な金融引締めスタンスが好感された欧州等、内外株式市場は上昇しました。

11月は、上旬には好調な企業業績を背景に国内株式は1996年のバブル崩壊後の戻り高値を更新しました。その後軟調な局面もありましたが、米株高を背景に上昇し、また、税制改革への期待の高まりを背景にNYダウは過去最高値を更新するなど日米の株式市場は続伸しました。

12月は、中東情勢を巡る不透明感の急速な高まりから国内株式は大幅下落する局面もありましたが、米税制改革法案の成立が確実となったことなどを受け、日米の株式市場は上昇しました。

このような市場環境下において第3四半期末運用実績はプラス2.40%、7月24日の運用開始からの年度通期ではプラス4.73%となりました。

	平成29年度				
	第1四半期	第2四半期 (7/24~)	第3四半期	第4四半期	年度通期
収益率 (%)	—	2.23	2.40		4.73
収益額 (千円)	—	2,985	7,958		10,943
運用資産額 (千円)	—	286,787	441,758		441,758

(注) 収益率は修正総合利回り

1. 平成29年度 第3四半期運用環境

【各市場の動き（10月～12月）】

- 国内債券： 10月の10年国債利回りは、下旬の衆院選挙の与党大勝を受けて上昇（債券価格は下落）したものの、日銀の金融政策維持との見方から低下（債券価格は上昇）し、月間では横ばいとなりました。その後、11月には、国内政治イベントの一巡を受けて、現行の金融政策維持との見方が改めて強まり、利回りは低下しました。12月は横ばいで推移しました。
- 国内株式： 10月は、月初は日銀短観や米欧の経済指標で内外景気の堅調が確認されたことを受け、国内株式市場は上昇し、22日の衆院選後には与党の大勝を受けた経済金融政策の継続期待等から日経平均株価は過去最長となる16連騰を記録するなど、大きく上昇しました。11月は、上旬は米株への連れ高や好調な企業業績を背景にバブル崩壊以来約26年ぶりの高水準となり、企業決算が一巡した後は円高が重石となり軟調に推移しましたが、月末にかけては、米税制改革の進展を受けた米株高を背景に上昇しました。12月は、中東情勢の不透明感が急速に高まり、今年最大の下げ幅を記録する局面もありましたが、月末にかけては、米国株高の好感などから上昇しました。
- 外国債券： 10月から12月の米国10年国債利回りは小幅に上昇しました。一方、ドイツ10年国債利回りは10月は低下し、11月は横ばいで推移しましたが、12月は小幅に上昇しました。為替は、11月には円高が進行しましたが、期末にかけては円安基調で推移しました。
- 外国株式： 10月の米国株式市場は、堅調な経済指標や予算決議成立を受けた税制改革期待の高まりを背景に連日最高値を更新し、月間を通じて上昇しました。その後11月は、中旬に税制改革案を巡り不透明感が増したことから弱含んだものの、下院が税制改革案を可決したことをきっかけに上昇に転じ、その後も減税期待の高まりなどを背景に、NYダウは24,000ドルを突破し最高値を更新するなど上昇基調で推移しました。12月も税制改革の進展を受け更に上昇し、最高値を更新しました。一方、欧州株式市場は、10月は米株高やユーロ安の進行を受け上昇し、ドイツDAX指数は最高値を更新しましたが、期末にかけては、小幅に下落しました。

◇参考指標

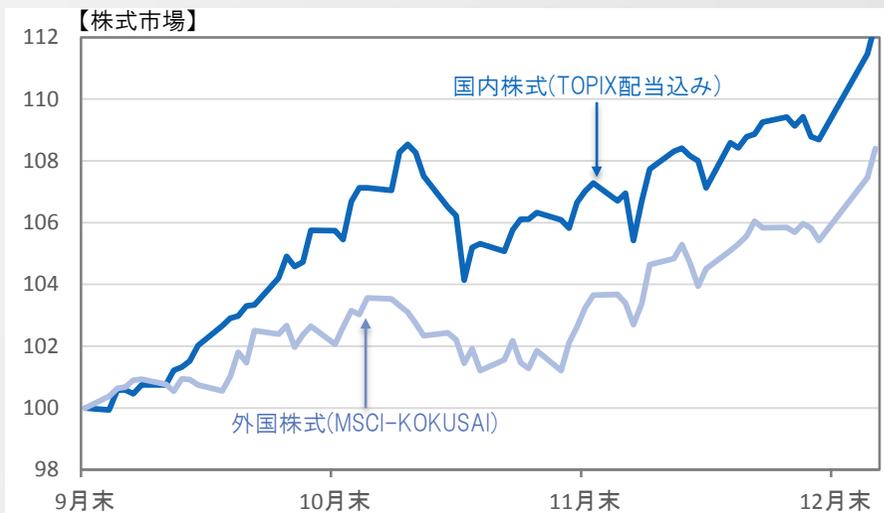
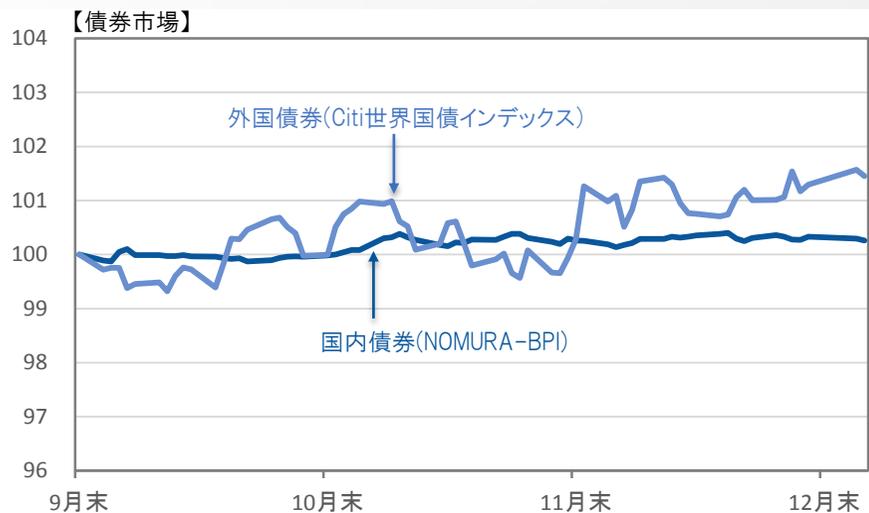
		H29年3月末	H29年9月末	H29年10月末	H29年11月末	H29年12月末
国内債券	10年国債利回り (%)	0.07	0.06	0.07	0.04	0.05
	TOPIX配当込み (ポイント)	2,176.87	2,434.16	2,566.81	2,604.86	2,645.77
国内株式	日経平均株価 (円)	18,909.26	20,356.28	22,011.61	22,724.96	22,764.94
	米国10年国債利回り (%)	2.39	2.33	2.38	2.41	2.41
外国債券	ドイツ10年国債利回り (%)	0.33	0.46	0.36	0.37	0.43
	NYダウ (ドル)	20,663.22	22,405.09	23,377.24	24,272.35	24,719.22
外国株式	ドイツDAX (ポイント)	12,312.87	12,828.86	13,229.57	13,023.98	12,917.64
	上海総合指数 (ポイント)	3,222.51	3,348.94	3,393.34	3,317.19	3,307.17
	ドル/円 (円)	111.43	112.57	113.63	111.91	112.65
為替	ユーロ/円 (円)	119.18	133.07	132.37	133.43	135.27

◇ベンチマーク収益率

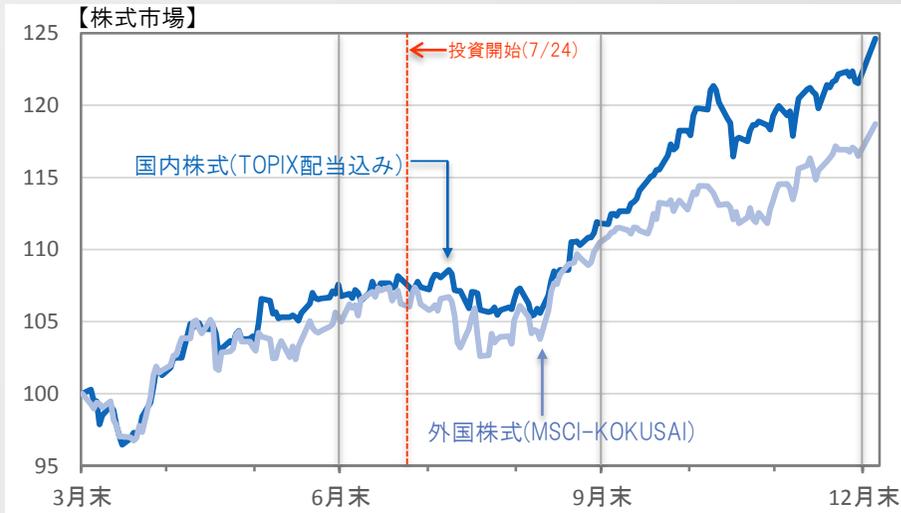
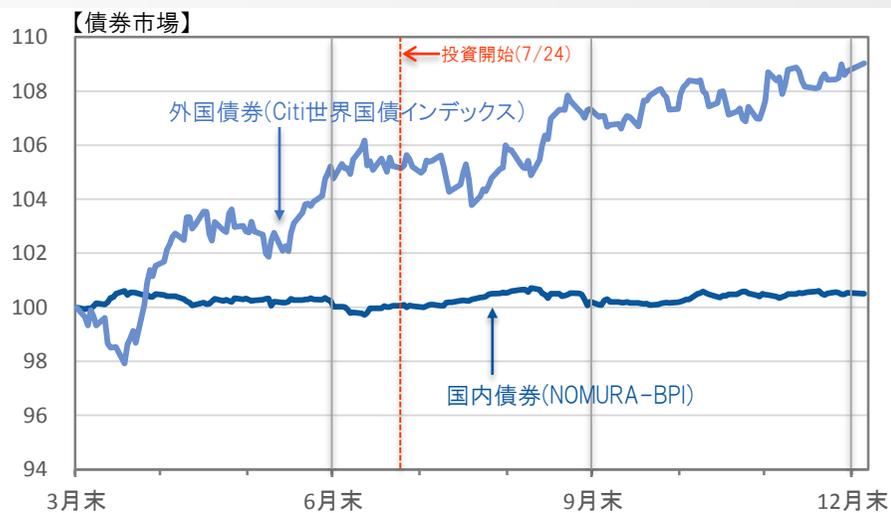
	平成29年10月～12月
国内債券 NOMURA-BPI	0.33%
国内株式 TOPIX配当込み	8.69%
外国債券 Citi世界国債インデックス	1.29%
外国株式 MSCI-KOKUSAI	5.42%

(注) ベンチマーク収益率は、期中のキャッシュフローを考慮しない収益率

市場インデックスの推移(平成29年度 第3四半期) 9月末=100とした市場の動き



市場インデックスの推移(平成29年度 通期) 3月末=100とした市場の動き



2. 資産クラス別収益率・収益額の状況

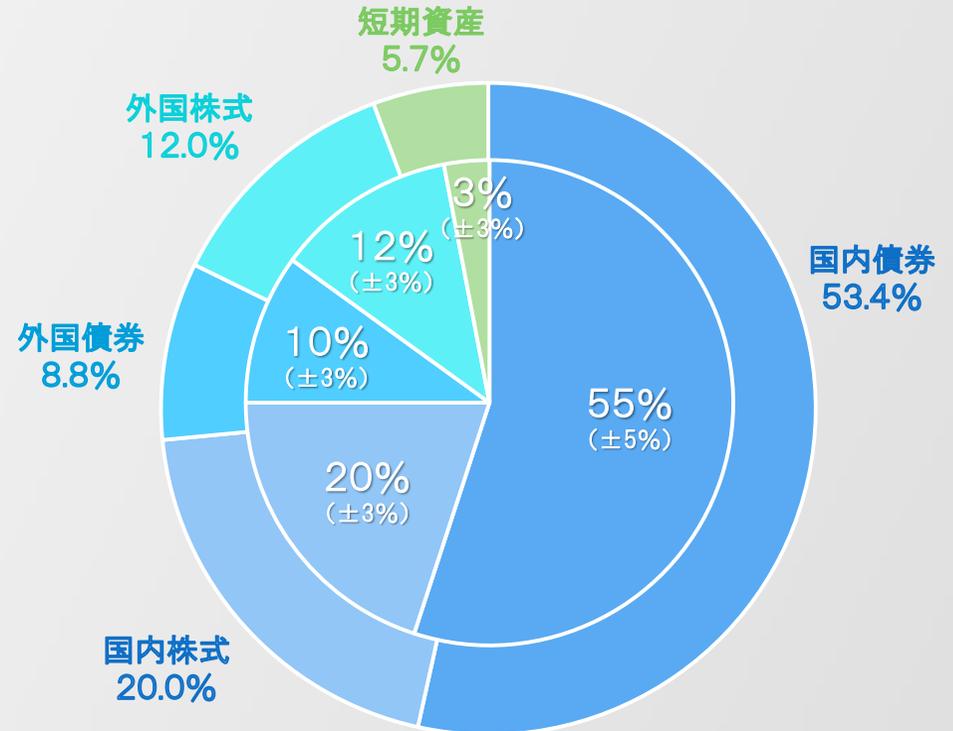
	平成29年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度通期
収益率 (%)	—	2.23	2.40		4.73
国内債券	—	-0.08	0.28		0.38
国内株式	—	7.32	7.92		15.83
外国債券	—	3.71	1.47		4.12
外国株式	—	7.83	5.18		11.95
短期資産	—	-0.01	-0.01		-0.01

	平成29年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度通期
収益額 (千円)	—	2,985	7,958		10,943
国内債券	—	-45	489		444
国内株式	—	1,597	5,009		6,605
外国債券	—	405	470		875
外国株式	—	1,030	1,992		3,022
短期資産	—	-1	-2		-3

3. 運用資産額・構成割合

	資産額 (千円)	構成割合	基本ポートフォリオ	乖離
国内債券	236,090	53.4%	55%(±5%)	-1.6%
国内債券	194,213	44.0%	44%	—
ヘッジ外債	41,877	9.5%	11%	—
国内株式	88,473	20.0%	20%(±3%)	±0%
外国債券	38,823	8.8%	10%(±3%)	-1.2%
外国株式	52,988	12.0%	12%(±3%)	±0%
短期資産	25,384	5.7%	3%(±3%)	+2.7%
合計	441,758	100.0%	100.0%	—

(注) 上記数値は四捨五入のため、各数値の合算は合計値と必ずしも一致しません。



内側：基本ポートフォリオ (カッコ内は乖離許容幅)
外側：平成29年12月29日時点